

■使用評価マニュアル：北九州市建築物総合環境性能評価制度マニュアル

■使用評価ソフト：CASBEE北九州_2014(v.2.0)

1 建物概要					
建物名称	北九州スタジアム	BEE	1	BEEランク	B+
				★★★	

2 重点項目への取組み度					
重点項目	得点 [※] /満点	取組み度			評価
1 循環型社会への貢献	3.4 /5				ふつう
2 地球温暖化対策の推進	3.6 /5				ふつう
3 豊かな自然環境の確保	2.0 /5				がんばろう
4 高齢社会への対応	3.0 /5				ふつう
[※] 対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)		評価 凡例 よい 4 点以上	ふつう 3 点以上	がんばろう 3 点未満	

3 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア					
使用CASBEE評価マニュアル: CASBEE-建築(新築) 2014年版		使用CASBEE評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)			
1 循環型社会への貢献		スコア平均 3.4			
リサイクルに関する配慮		長寿命化に関する配慮			
LR2/ 2 非再生性資源の使用量削減	スコア 3.7	Q2/ 2.2 部品・部材の耐用年数	スコア 3	Q2/ 3 対応性・更新性	スコア 3.5
<自由記述> ・躯体材料や内装仕上げ材等にリサイクル材を使用する。 ・OAフロア等、躯体と仕上が分別可能な材料や、再生利用可能な材料を使用する。		<自由記述> ・主要な内装仕上げ材の必要更新間隔は10年間とし、長寿命化に配慮する。 ・各階の階高は4.0m以上とし、ゆとりのある階高設定す			
2 地球温暖化対策の推進		スコア平均 3.7			
省エネ・省資源に関する配慮		節水に関する配慮			
LR3/ 1 地球温暖化への配慮	スコア 3.3	LR2/ 1.1 節水	スコア 4		
<自由記述> ・外気を取り入れる構造とすることで、中間期の空調負荷を削減し、CO ₂ 排出量を減らすことで地球温暖化に配慮する。		<自由記述> ・節水型衛生器具の採用、雨水利用など省エネルギーに配慮する。			
3 豊かな自然環境の確保		スコア平均 2.0			
生態系保全に関する配慮		緑化に関する配慮			
Q3/ 1 生物環境の保全と創出	スコア 2	Q3/ 3.2 敷地内温熱環境の向上	スコア 2	LR3/ 2.2 温熱環境悪化の改善	スコア 2
<自由記述> ・敷地内の一部を緑化し、極力生物環境の保全に配慮する。		<自由記述> ・ピッチには天然芝を計画することで、外構の緑化に配慮する。			
4 高齢社会への対応		スコア平均 3.0			
バリアフリーに関する配慮		主な指標			
Q2/ 1.1.3 バリアフリー計画	スコア 3	建物の外皮性能 (BPI評価)			
<自由記述> ・階段には手すりや点字ブロックを設け、バリアフリーに配慮する。 ・多目的トイレには車いすが転回できるスペースを確保し、車いす使用者が利用できるよう配慮する。		非住宅: BPI値、住宅: 省エネ等級 0.59			
		建物の一次エネルギー消費量 (BEI評価)			
		非住宅: BEIm値、住宅: - 0.81			
		外構緑化指数 57.56 %			
		建物緑化指数 0 %			

: 入力欄

: CASBEE-建築(新築)の採点結果から転記してください。